

# 道道中央東線(寿橋)の改築

## 現状

本路線は、鉄道で地理的に分断されている中島・東明地区と東地区を結ぶ3路線のうち、中間に位置する路線ですが、寿橋では朝夕の通勤時間帯に渋滞が多発しています。

また、海岸に面する東地区は、地区の大部分が津波災害警戒区域となっており、基準水位が3m以上の場所も多く、東地区から鉄道をもたいで中島・東明地区に避難する津波避難路になっています。

さらに、寿橋は歩行者が通行する際は階段を利用することとなるため、高齢者や障がい者等の歩行者の安全性・利便性が確保されていない状況となっています。

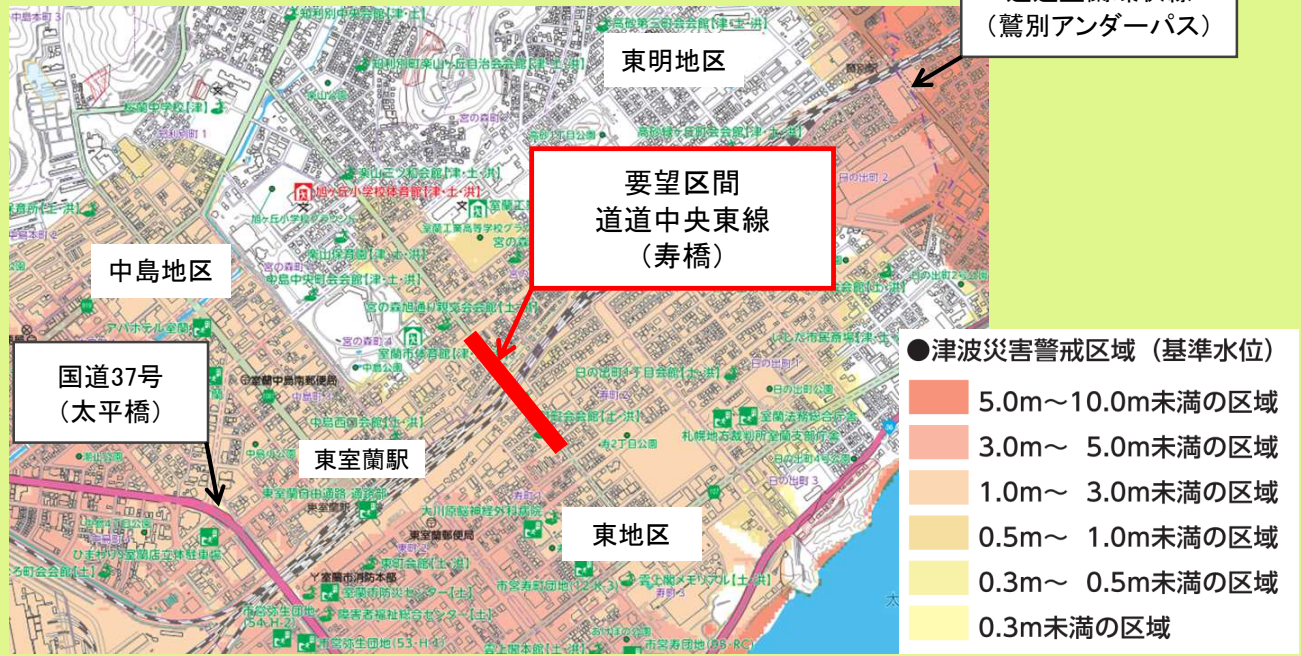
なお、室蘭市都市計画マスタープランでは、利用しやすい交通ネットワークづくりと災害に強いまちづくりの2つの観点で、当該地域特有の取り組みの一つとして「線路を横断する幹線道路の維持・改善」を掲げています。

## 課題

- 路線拡幅や交差点改良などにより、渋滞が起きない路線とすることが課題となっています。
- スロープ設置などにより誰もが利用しやすい歩行環境を確保することが課題となっています。
- 上記の整備にあたっては、現位置での路線維持を前提としながらも、架け替えも含めた改築の検討が必要となります。

## 要望内容

### ● 道道中央東線（寿橋）の改築



## 事業効果

- 渋滞の解消による利用しやすい交通ネットワークの形成
- 高齢者や障がい者等の歩行時の安全性・利便性の向上